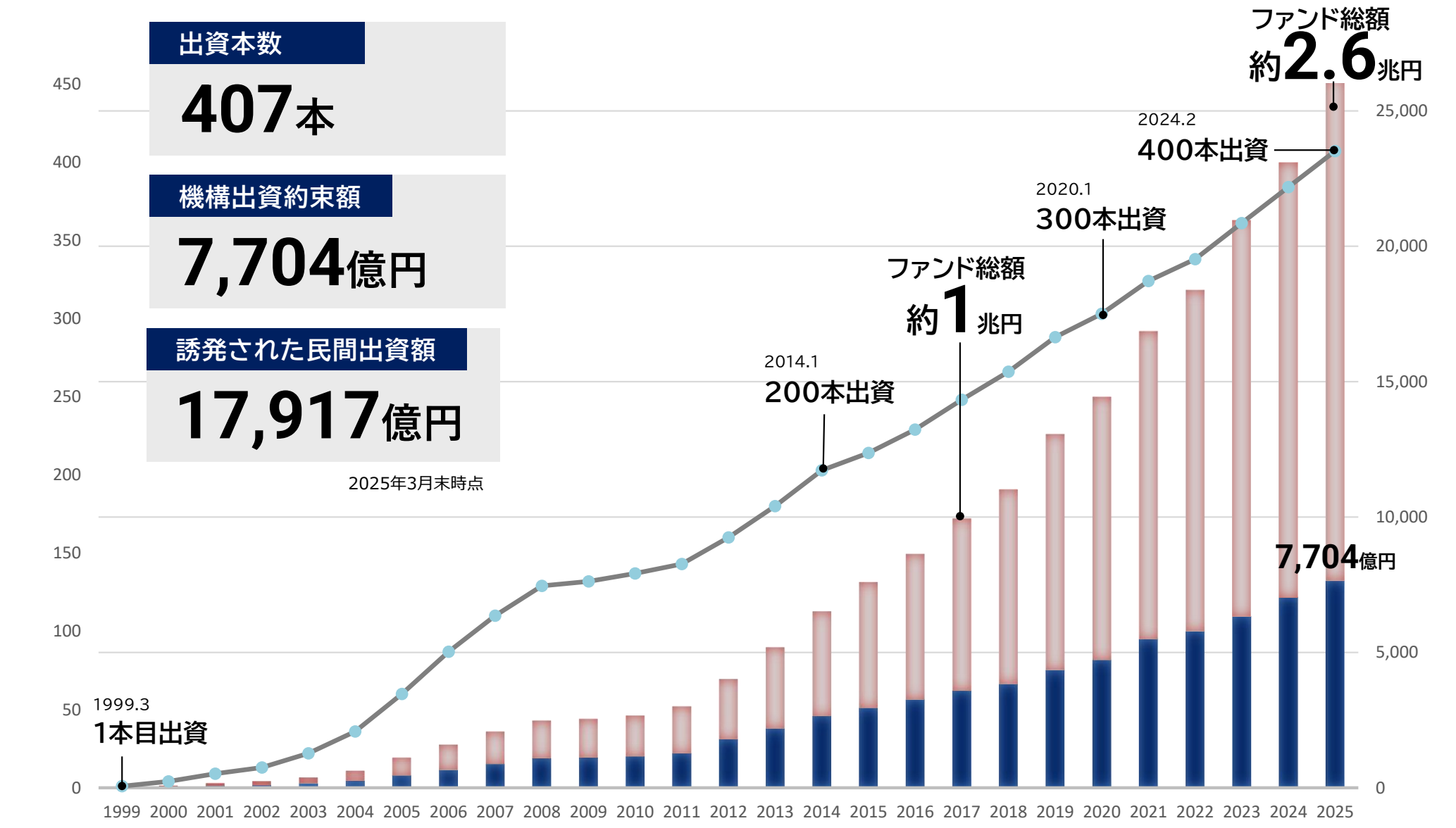


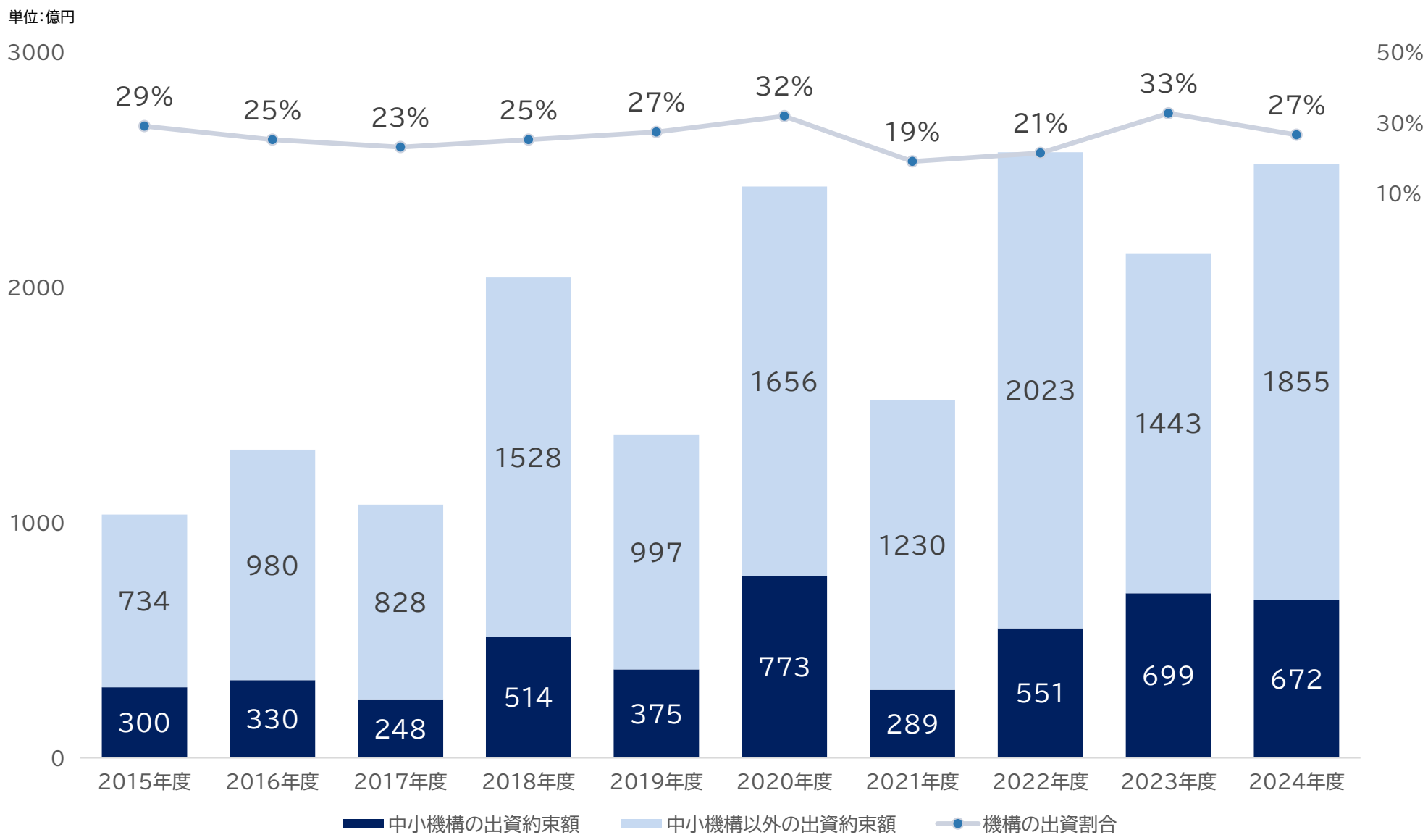
ファンド出資事業の実績① - 出資本数／出資約束額 -

- ・ 中小機構では原則1ファンドあたり、ファンド総額の50%以内かつ80億円を上限としたLP出資を行っている。
- ・ ファンド出資事業の開始(1998年度)以来、2024年度末までに**407本**のファンドに対して、**7,704億円**の出資約束を行い、国内のGPによるファンドレイズを継続して下支え。



ファンド出資事業の実績② - 出資額比率の推移 -

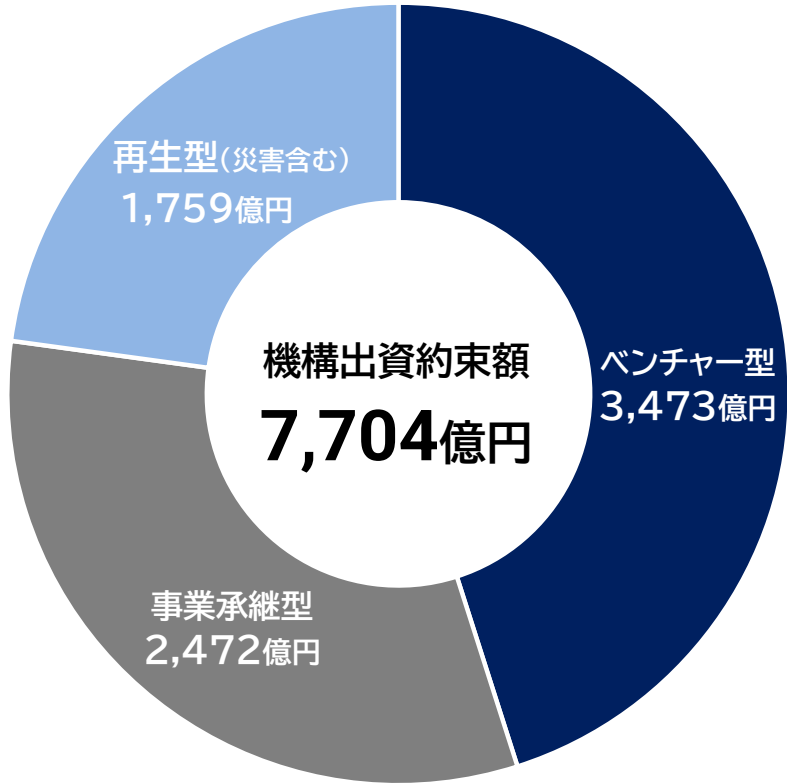
・ ファンド総額に対する機構の出資比率は約**26%**(直近10年平均)となっており、国内リスクマネー市場への資金供給促進(呼び水)としての役割を果たしている。



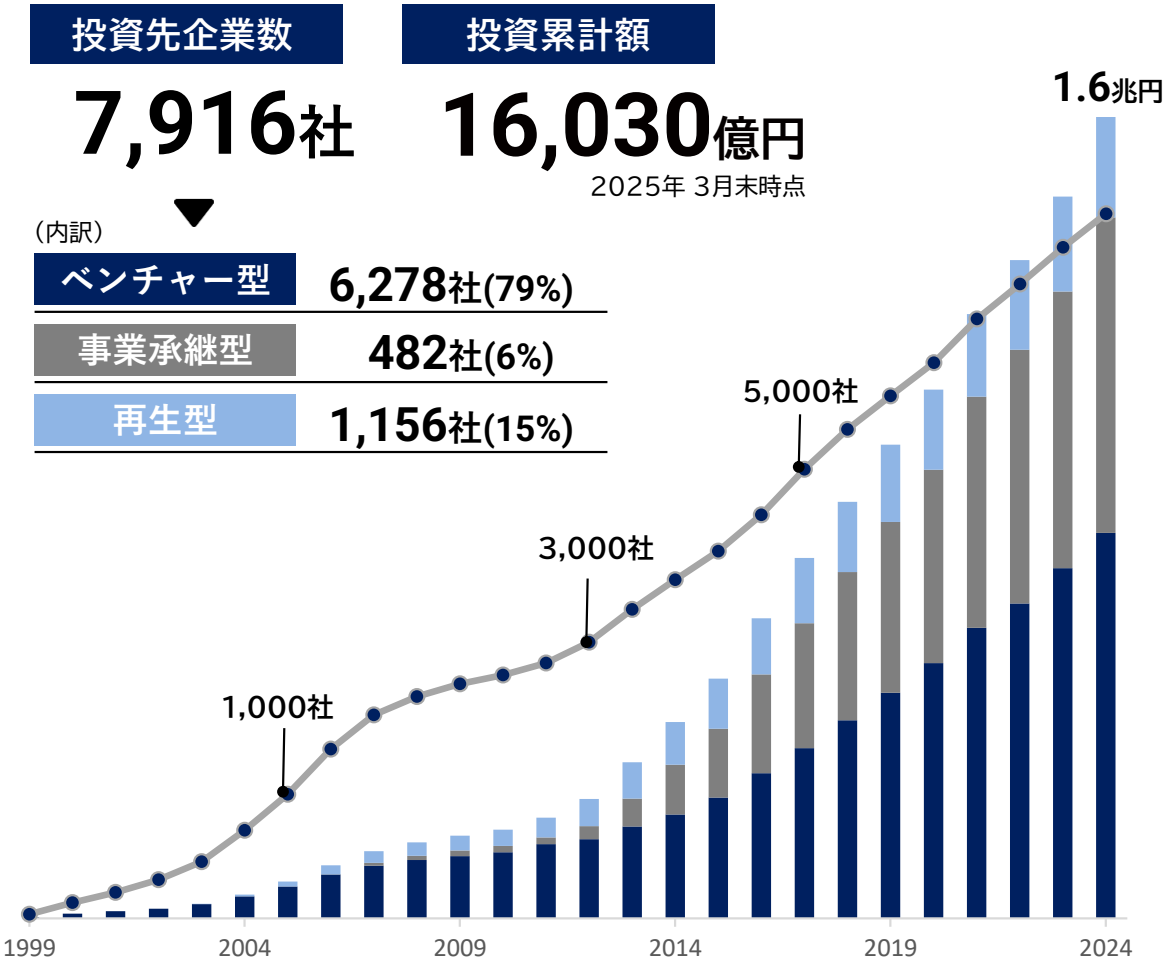
ファンド出資事業の実績③ - 出資約束額の内訳／投資先企業数・累計額 -

- 「ベンチャー型」を筆頭に「事業承継型」「再生型」を3本柱としてバランスよく出資。
- 2024年度末での機構出資ファンドからの投資累計額は**16,030億円**、のべ投資先企業数は**7,916社**にのぼるなど、ファンドへの出資を通じたリスクマネーの供給を通じてベンチャーの成長や、中小企業の新事業展開・再生を後押し。

機構出資約束額の内訳



投資先企業数・投資累計額の内訳・推移

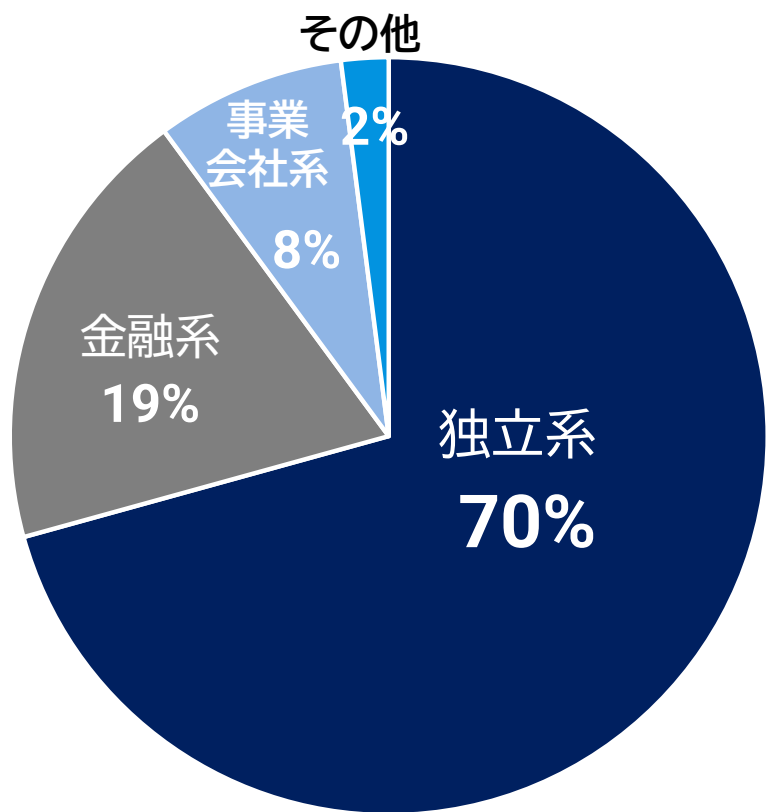


ファンド出資事業の実績④ - 機構出資先GP構成／初号・2号ファンド出資割合 -

- ・ 機構は、様々なステージ・領域で投資を行うVCに対して出資を行うことで、エコシステムの拡大に貢献。
- ・ 初号・2号ファンドに対しても積極的に出資を行うことで、VCの新規参入を促進し、スタートアップに対する特色ある投資戦略やハンズオン支援手法の多様化に貢献。

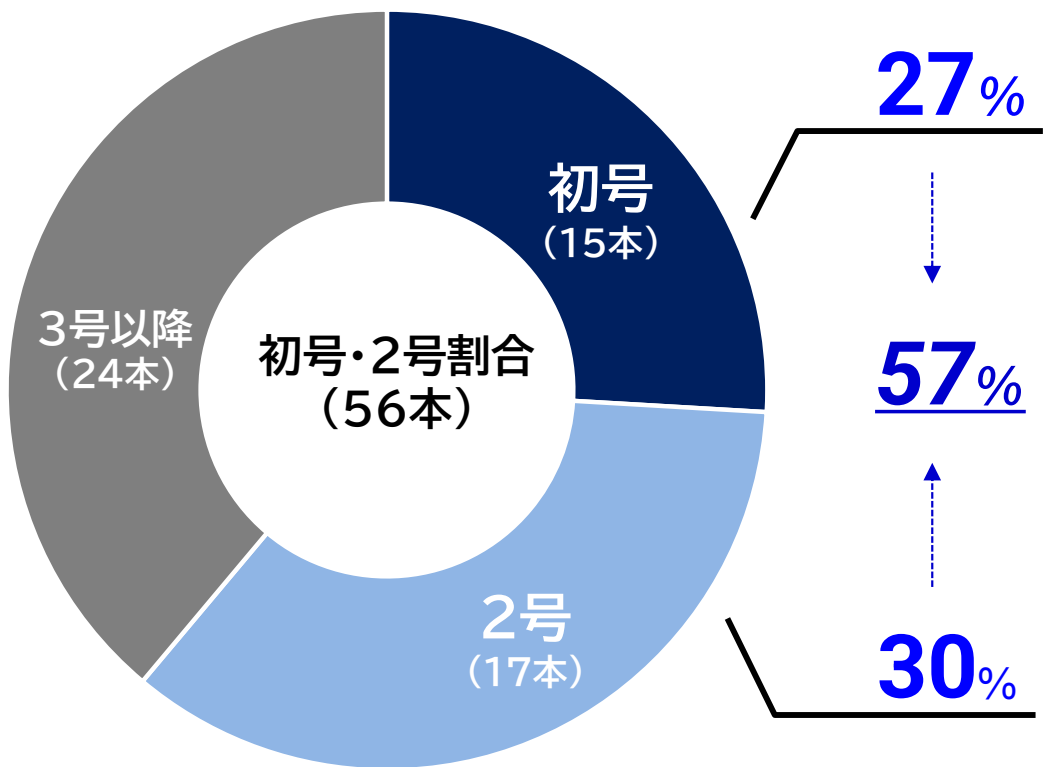
機構出資先GP構成

中小機構では独立系VCを中心に、日本における民間のファンド運営者の育成に取り組んでいる。



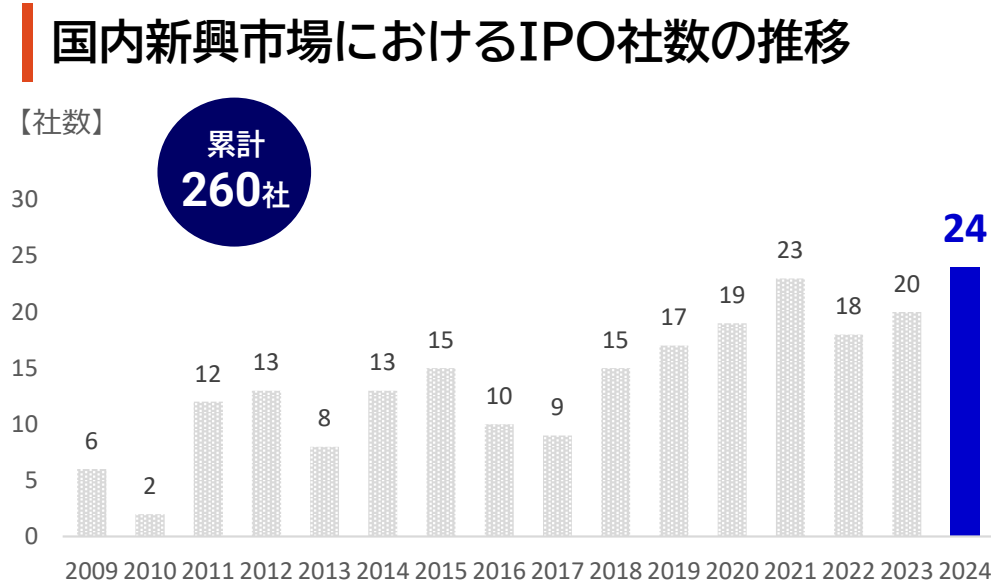
初号・2号ファンド出資割合(直近5年間)

直近5年間では、初号・2号ファンドに対して32本/5割以上出資。



ファンド出資事業の実績⑤ - IPO企業・ユニコーン輩出実績 -

- 2024年度の機構出資先ファンド投資先における国内新興市場(TOKYO PRO Marketを含む)へのIPO企業数は24社を数えるなど、新興市場で高いプレゼンスを発揮。国内新興市場への累計IPO企業数も260社にのぼる(2025年3月末時点)。
- 未上場市場においても、国内未上場企業価値ランキング上位10社中、機構出資ファンド投資先が8社を占めるなど、今後の我が国経済を牽引するユニコーン・メガベンチャーの創出にも大きく貢献。



国内未上場企業価値ランキング

(単位：億円)
網掛けは機構出資ファンド投資先/★はベンチャーデット債務保証先

No	会社名	時価総額
1	Preferred Networks	3,463
2	スマートニュース	2,128
3	Sakana AI	1,931
4	SmartHR	1,840
5	Spiber	1,695
6	★ TBM	1,361
7	五常・アンド・カンパニー	1,336
8	Mujin	1,186
9	ティアフォー	1,012
10	STORES	947

※ 日本経済新聞社「NEXTユニコーン調査」(2024年12月7日発表)を基に作成。

国内新興市場への貢献 - グロース市場全体におけるプレゼンス -

2025年3月末	上場社数	時価総額
機構出資ファンド投資先(※)	173社	2兆3,764億円
市場全体	612社	7兆7,797億円

※対象:機構出資ファンドから投資された先のうち、2025年3月末までにIPOした先。
本則市場へ移行したものや上場廃止ものを除く。

グロース市場全体のうち…
・上場社数ベースで **28.3 %**
・時価総額ベースで **30.5 %**
が機構出資ファンド投資先